

和歌山大学
学術情報センター
図書館年報

2017/2018

目次

はじめに	1
TOPICS	
1) 地域資料の保存と活用	2
2) 平成 29 年度国立大学図書館協会近畿地区事業	2
3) 新入生図書館ツアー、ガイダンス	3
4) 講習会	4
5) 催し	5
学生協働	
1) 学生サポーター	6
2) ラーニング・アドバイザー (LA)	8
紀州藩文庫のご紹介	10
地域連携	11
学術リポジトリ	12
資料管理	12
視察者・新聞掲載	12
統計	13

はじめに

図書館長 渡部幹雄

平成 30 年（2018）2 月に、全米で一番住みたい街といわれるポートランドの図書館を視察してきました。現地の方々には大変お世話になり、幼稚園、小学校、中学校、コミュニティ・カレッジ、州立大学と私立大学、公共図書館 7 館を回ることができ、長年テーマとしてきたまちづくりと図書館について考えるうえで、貴重な機会をいただき感謝しています。学校では、明るく広々とした図書館が建物の中心に位置し、教員が図書館内に常駐しており、公共図書館では、中央館と分館の役割分担が明確で、それぞれの館で活発な活動が展開されていました。日本の図書館の現状はかけ離れたものになっていますが、地域の中で図書館がどうあるべきか、今後も伝えていきたいと思えます。



和歌山大学は、学生の学修を支援するため、平成 22 年（2010）から改革を開始した図書館の利用をさらに拡大することを第 3 期中期計画に掲げています。平成 29 年度（2017）には、図書館機能の改善、向上を図るため、学生アンケートを実施し、その結果を踏まえ「図書館機能向上計画 2017～2021」を策定しました。また、学部生の学習をサポートするラーニング・アドバイザー（LA）の配置も 3 年目となり、LA によるビブリオバトルや講習会を開催することができました。平成 27 年（2015）4 月から活動を開始した学生サポーターは、和歌山県立医科大学図書館の学生との交流や防災に関するパネル展示を行うなど、引き続き活発に活動しています。

和歌山県内自治体との連携については、那智勝浦町、日高川町、橋本市の図書館への協力を行うとともに、九度山町「くどやま森の童話館」の新設開館を支援しました。



Photo by d.hidaka

TOPICS

1) 地域資料の保存と活用

平成 27 年度より、公益財団法人図書館振興財団の助成を受け、和歌山県内の歴史資料等のデジタル化および地域連携事業を実施しています。最終年度となる平成 29 年度は、紀州藩文庫 12 点の翻刻・公開を行うとともに、那智勝浦町の資料調査により発見した佐藤春夫自筆原稿 6 点を公開しました。

さらに、地域資料の保存と活用についての研修会を和歌山県立図書館との共催により実施しました。

日時：7 月 5 日（水）13:00 ～ 16:00

場所：和歌山県立図書館

(1) 事例発表①「那智勝浦町の災害資料保全の取組み」

発表者：那智勝浦町教育委員会 教育次長 寺本尚史氏

(2) 事例発表②「地域資料デジタル化の活用事例」

発表者：TRC-ADEAC 株式会社 代表取締役社長 田山健二氏

(3) 講義「災害時に図書館が果たすべき役割～地域史料の保存と活用～」

講師：和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館 特任准教授 橋本唯子

(4) 情報交換会



2) 平成 29 年度 国立大学図書館協会近畿地区事業

「その時図書館はどう動くか？～大規模災害時における対応及び事前準備について～」

近年の大規模災害の頻発を鑑み、南海大地震を想定した状況下での図書館の対応・事前準備について学ぶ機会を設けるため、実際に大規模災害を経験された図書館関係者から講演いただくとともに、事前準備を具体的に考えるためのワークショップを実施しました。

日時：9 月 1 日（金）13:00 ～ 17:00

講演 1 「平成 28 年熊本地震に対する熊本大学附属図書館の対応について」

熊本大学附属図書館 図書館課副課長 濱崎千雅氏

講演 2 「災害時における歴史資料の救援・保全」

和歌山大学学術情報センター図書館 特任准教授 橋本唯子

ワークショップ（90 分）「大震災発生～その時図書館は」

減災アトリエ 主宰 鈴木光氏



3) 新入生図書館ツアー、ガイダンス

■ 新入生図書館ツアー（授業向け）

新入生向けに、図書館職員が館内を案内しながら、館内資料の配置、資料の探し方の概要、設備の利用などを説明しています。観光学部については全ての新入生に対して実施し、その他の学部については、教員からの申込みにより実施しました。

【前期】

- ・実施日：4月10日（月）～5月2日（火）
- ・時 間：30分程度
- ・実施数：27グループ（438名）

【後期】

- ・実施日：11月13日（月）2限
- ・時 間：60分程度
- ・実施数：1グループ（18名）



■ ガイダンス（授業向け）

教員からの申込により、授業1コマを担当し、ガイダンスを全3回実施しました。

(1) (2) は、1コマ90分のうち、先に20～30分の図書館ツアーの後、下記のガイダンスを行いました。

担当：情報サービス係 八幡

場所：学術情報センター第4演習室

(1) 4月18日（火）3限 「専門演習Ⅰ」

対象：経済学部の3年生、11名

内容：信頼できる情報を収集する意義の解説

情報源（資料）の種類と使い分け

情報検索の演習問題と解説

情報検索に有用なサイト、データベースのリンク集の作成、配布



(2) 5月2日（火）5限 「基礎演習Ⅰ」

対象：経済学部の1年生、17名

内容：(1)の内容と同じ

(3) 5月23日（火）2限 「専門演習Ⅰ」

対象：経済学部の3年生、11名

内容：(1)と同じ内容を若干アレンジし、統計情報 e-stat、電子ブックを紹介

TOPICS

4) 講習会

■ レポートの書き方

① 3回連続講座「イチから分かる、レポートの書き方」※1・2年生対象

講師：藤本則子（本学特任助教・経済研究所）

日時：5月22日（月）5限 入門編 レポート作成の手順を知ろう

5月29日（月）5限 準備編 テーマに合った情報の選び方、探し方

6月5日（月）5限 執筆編 わかりやすい文章を書く、形式を整える

参加：31名

② 30分で分かるレポートの書き方&情報の探し方

講師：藤本則子（本学特任助教・経済研究所）、八幡圭子（図書館職員）

日時：10月17日（火）12：30～13：00 レポートとは何か、レポート作成の手順

日時：10月18日（水）12：30～13：00 意外と知らない蔵書検索、情報源の比較、ツールの使い分け



■ EndNote 講習会

日時：7月5日（水）1限（9：10～10：40）

場所：学術情報センター第4演習室

参加：18名（観光学部基礎演習）



■ データベースを使ったレポート作成&就活情報収集

① 日経テレコン講習会

日時：6月22日（木）4限（14：50～16：20）

内容：日経各紙の記事検索方法・読み解き方、未知の企業の検索
企業業績・人事情報などを使った企業分析

参加：6名

② レポート・卒論のためのデータベース活用法 ー ジャパンナレッジ lib を中心にー

日時：6月28日（水）4限（14：50～16：20）

内容：ジャパンナレッジの概要・基本検索
レポート作成のための情報検索手順
聞蔵（朝日新聞）、CiNiiの活用法 等

参加：4名



5) 催し

蔵書リユース市

日時：6月9日（金）10：00～15：00

内容：約16,000冊（各分野の学術書）



第12回ライブラリーコンサート

日時：6月29日（木）12:30～13:00

演奏者：奥山杏菜（チェンバロ）



平田オリザさんワークショップ

日時：12月15日（金）2限（10：50～12：20）

講師：平田オリザ氏

参加：46名（うち見学20名）

教養の森センター設立5周年記念シンポジウムに来学された平田オリザさんが、図書館でワークショップを開催してくださいました。笑いのたえない楽しいワークショップで、参加学生からは、「イメージの共有」の大切さが印象に残ったという声が多く上がりました。



講座 大学生のための「今、読みたい絵本」

日時：11月21日（火）16：30～17：00

紹介者：藤井亜希子（図書館職員）

参加：10名

初めての絵本講座を開催し、『ぼくを探しに』『夜の木』『ぼくのせものをつくるには』などの絵本を紹介しました。



展示 食べよら、駿河屋～550年の歴史を味わう～

期間：1月15日（月）～1月31日（水）

図書館1階展示室において、博物館実習Ⅰ（橋本唯子准教授）の実習生による展示がおこなわれました。学生による展示解説も好評でした。



学生協働

1) 学生サポーター

学生サポーターは、ボランティアで図書館の仕事をする学生の集まりです。
平成29年度(2017)は、20名のサポーターが活動を行いました。

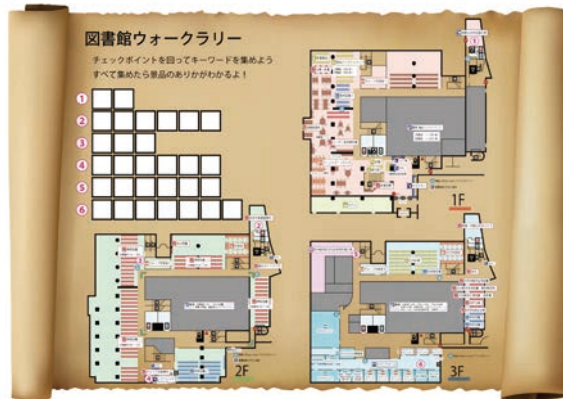


活動内容

- ・図書館の利用案内、環境整備
- ・返本・書架整理作業(月1回程度)
- ・ミーティング(月1回程度)

新入生歓迎企画

- ・展示「LA LA LIBRARY (ラ・ラ・ライブラリー)
～読むもの全てが望みをかける、極上のライブラリー・エンターテインメント～」
- ・展示「この図書館の片隅に～19年目の邂逅(コンタクト)～」
- ・図書館ウォークラリー



オープンキャンパス 図書館ツアー

7月16日(日)オープンキャンパス開催に合わせ図書館ツアーを行いました。



和歌山県立医科大学図書館サポーターズクラブ Lapo との学生交流会の実施

8月10日(木)、和歌山大学図書館にて学生交流会を実施しました。

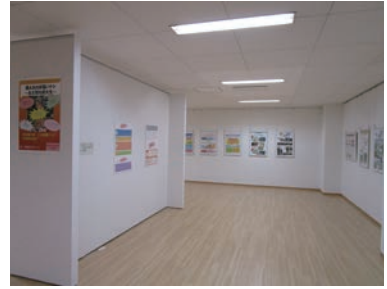
和歌山県立医科大学からは学生5名・職員1名、本学からは学生7名・職員3名が参加しました。
図書館案内の後、お互いの活動内容のプレゼンテーションや意見交換を行いました。



学生協働

防災パネル等展示「備えあれば憂いナシ～生き残れ和大学生～」

10月3日（火）～10月20日（金）、防災について学生自身が学ぶことを目的に、パネル展示を行いました。企画にあたっては、此松昌彦先生に事前レクチャーをお願いし、パネル作成や展示作業は橋本唯子先生に指導いただきました。また、和歌山県・和歌山県土砂災害啓発センターからお借りしたパネルをあわせて展示しました。



選書ツアー

11月11日（土）、ジュンク堂難波店にて選書ツアーを行いました。サポーター6名、LA2名が参加し、学生の視点で利用者にすすめたい本、また授業や研究に必要な本など合計60冊を選びました。



企画展示「おいでよ どくしょの森」

1月19日（金）、選書ツアーで選んだ図書にPOPをつけて展示しました。



学生協働

2) ラーニング・アドバイザー (LA)

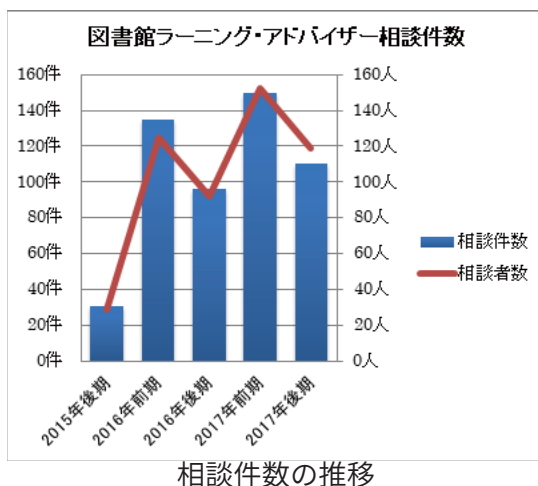
ラーニング・commonsにおける大学院生による学修支援活動は3年目となり、WebサイトのLAのページを新設しました。相談対応に加えて、新たにビブリオバトルやLA講習会の開催、PR動画の製作等にも取り組みました。

■ 相談対応

実施期間 平成29年4月10日(月)～平成30年2月9日(金) 授業期・試験期の平日午後
スタッフ 10名

- ・教育学研究科 M1 1名 M2 1名
- ・経済学研究科 M1 1名 M2 1名
- ・システム工学研究科 M1 2名 M2 1名
- ・観光学研究科 M1 1名 M2 2名

	4月	5月	6月	7月	8月	前期計	10月	11月	12月	1月	2月	後期計	合計
レポートの書き方	1	2	0	1	0	4	0	0	2	3	1	6	10
資料の探し方	2	3	2	3	0	10	3	1	1	1	1	6	17
館内資料の場所案内	3	5	2	1	0	11	1	0	3	2	2	8	19
PCやプリンタの操作方法	15	39	26	14	3	97	15	15	7	8	9	54	151
学習上の問題	5	3	2	0	0	10	6	4	5	4	2	21	31
その他	4	5	4	5	0	18	3	6	5	0	0	14	32
合計	30	57	36	24	3	150	28	26	23	18	15	110	260件
相談人数(人)	29	56	38	26	3	152	28	29	27	20	15	119	271人



相談風景

学生協働

■ パスファインダー作成（テーマ）平成 29 年度

1. 中国語学習
2. 民法
3. マーケティング
4. 判例の読み方
5. 文献管理の方法
6. 英語学習
7. 囲碁入門
8. 「ロボット」を知る

■ ビブリオバトル

LA によるビブリオバトルを初めて開催しました。

小説やノンフィクションなど、それぞれがおすすめする多彩な本を持ち寄り、5 分間のプレゼンをした後、参加者全員でどの本が一番読みたくなったか、投票を行いました。



第 1 回：12 月 4 日（月）

★チャンプ本『言ってはいけない 残酷すぎる真実』橘玲

第 2 回：12 月 19 日（火）

★チャンプ本『数学の言葉で世界を見たら：父から娘に贈る数学』大栗博司

■ LA 講習会「EndNote basic の使い方」

2 月 9 日（金）、LA がおすすめする文献管理の方法をテーマとして、講習会を開催しました。

講師：上野舞斗さん（教育学研究科 M2）

補助：孫工季也さん（教育学研究科 M1）

ユーザー登録から事前準備、実際の取り込みまで、EndNote basic の入門編を分かりやすく学べる講習会でした。



■ LA 展示



LA が選んだ英語教育関連本



パスファインダー「民法」関連本

紀州藩文庫のご紹介

「紀州藩文庫」は、和歌山にあった藩校などの蔵書の一部が、組織改正により図書館所蔵となった文庫です。

紀州藩文庫の郷土誌料の中から一展示「和歌山と熊楠」より

490-26 本草綱目

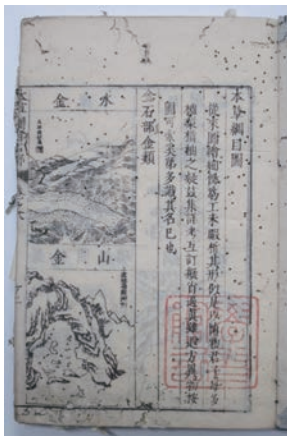
熊楠が幼少期に『和漢三才図会』『本草綱目』などを筆写したことは著名である。『本草綱目』は明代の李時珍が著した、百科全書といえるものである。薬物書であるが詳細な解説があり博物学の要素が多く、本草学者に多大な影響をもたらした。熊楠が『本草綱目抜記』と題して作成した抜き書き帳が残されている。なお熊楠と親交を深め、神社合祀反対運動にも関与した植物学者・白井光太郎は、『本草綱目』を翻訳した『頭注国訳本草綱目』を監修した。

490-28 本草綱目啓蒙

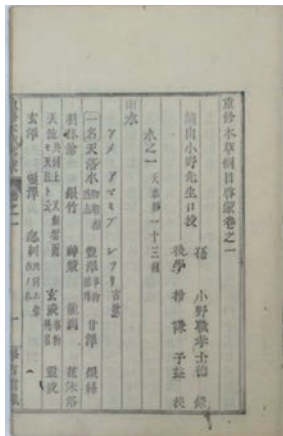
『本草綱目』の分類配列を踏まえ、国産の動植物を加え解説したのが、小野蘭山の『本草綱目啓蒙』である。小野の本草学は、小原桃洞・畔田翠山から鳥山そして熊楠へとつらなる紀州本草学の基盤とされている。和歌山中学を卒業し、東京大学予備門に入学した熊楠は、退学するまでの3年間に膨大な数の書籍を購入している。なかでも『本草綱目啓蒙』のほか畔田『水族志』など、本草学関係書を100冊以上購入したことがリストから明らかになっている。

490-33 『本草綱目』より

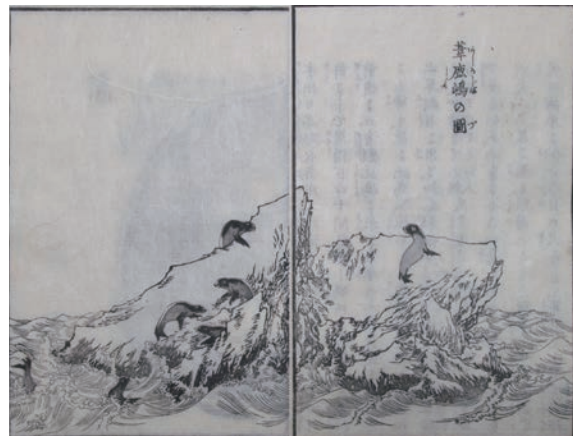
小原桃洞は小野に本草学を学び、医学も修め藩医師をつとめた人物である。小原が執筆した『桃洞遺筆』は、孫の本草学者蘭峽が編纂して刊行され、熊楠は『本草綱目啓蒙』と同時期に購入している。画像は『桃洞遺筆』のうち「海獺」の項である。日高郡大引浦近くにある小島に、毎年秋の土用前後に来て春の土用前後には「何れかに帰る、故に此嶋を往年より葦鹿島といふ」と記されている。現在も呼称は残るがアシカの渡来はないようである。



『本草綱目』より図経乾



本草綱目啓蒙



『桃洞遺筆』より葦鹿嶋の図

地域連携

和歌山地域図書館協議会

図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域の大学、短期大学、高等専門学校、図書館及び和歌山県立図書館をもって、和歌山地域図書館協議会を組織しています。

◇平成 29 年度（第 23 回）会議

日時：5 月 12 日（金）10：00～11：00

場所：和歌山県立図書館

議題：2017 年度開催のフォーラムについて、2018 年度開催のフォーラムについて

◇蔵書情報の横断検索システム提供

和歌山大学で県内の蔵書情報の横断検索システムを提供しています。県内の方は、お住まいの地域の図書館を通して、県内大学等の図書を借りることができます。

◇催し

【2017 年和歌山地域図書館協議会フォーラム】

近畿大学生物理工学部図書館長の浅居先生より、電磁波分野の最先端の研究を紹介いただきました。

日時：7 月 9 日（日）13:30～16:00

場所：和歌山大学松下会館（和歌山市西高松 1-7-20）

講師：浅居正充氏（近畿大学生物理工学部図書館長）

内容：第一講「透明人間」は可能か？ 第二講 電波で？再生可能エネルギー



【企画展 和歌山と熊楠】

期間：11 月 10 日（金）～12 月末まで

場所：和歌山県立図書館、和歌山大学図書館



県内図書館の支援

◇委員等（図書館長）

和歌山県立図書館協議会、和歌山県立近代美術館協議会

和歌山市民図書館協議会

那智勝浦町図書館アドバイザー及び図書館協議会

「くどやま森の童話館」開館に向けての準備委員会

◇講演等（図書館長）

6 月 6 日 学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究事業検討会／和歌山県

10 月 30 日 「図書館基礎講座 2017in 関西」図書館基礎講座関西地区実行委員会

1 月 24 日 日高地方市町教育委員研修会／日高地方教育長会

2 月 9 日 日高川町立川辺小学校教育講演会／日高川町立川辺小学校

3 月 13 日 橋本市図書館職員等研修会／橋本市図書館

◇その他

8 月 6 日 「耐久梧陵文庫の世界」耐久高校 講師／橋本唯子

学術リポジトリ

平成 29 年度は、学内刊行物の網羅性を高めるべく、未登録タイトルの収集に力を入れ、紀要論文等 235 件、研究報告書等 69 件、データ集 1 件、過年度分の博士学位論文 11 件を登録することができました。継続登録中のタイトル分の増加も含め、コンテンツ数は合計 3,000 件を突破しました。

平成 30 年春には、システムリプレイスを行い、機能の改善とデザインのリニューアルを予定しています。



資料管理

虫害菌対策

平成 27 年（2015）にシバンムシの大量発生があったため、管理体制を全面的に見直しました。貴重書室は全資料を燻蒸しましたが、書庫資料の燻蒸は一部のみであるため、3 年程度を目標に一掃できるよう対策を進めています。書庫については、4 月～7 月頃にかけて誘虫ライトトラップを設置しています。平成 28 年には小規模な発生がありましたが、平成 29 年には捕獲はありませんでした。引き続き、目視点検・書棚清掃（毎日）、低温殺虫処理（毎週）を継続しています。



視察者

見学・来訪者

- 2017 年 6 月 5 日 海外協定校からの見学（17 名） ※ LA による案内（写真）
- 2017 年 7 月 13 日 オーストリア・クレムス応用科学大学理事会会長他（2 名）
- 2017 年 7 月 4 日 韓国大学生訪日団（44 名） ※写真
- 2017 年 7 月 12 日 中国山東師範大学日本語学科学学生（16 名）
- 2017 年 8 月 22 日 和歌山県高等学校司書部会（38 名）
- 2017 年 8 月 24 日 広島県立大学学術情報センター図書館（3 名）
- 2017 年 10 月 31 日 岬町子どもの本連絡会（7 名）
- 2017 年 11 月 21 日 岩出市図書館協議会（10 名）
- 2017 年 11 月 28 日 文科省高等教育局大学振興課視察（2 名）
- 2017 年 12 月 7 日 北海道大学学務部他（4 名）
- 2018 年 2 月 16 日 西安交通大学（15 名）



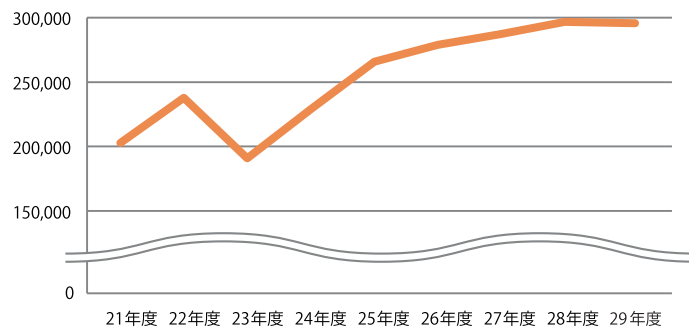
新聞掲載

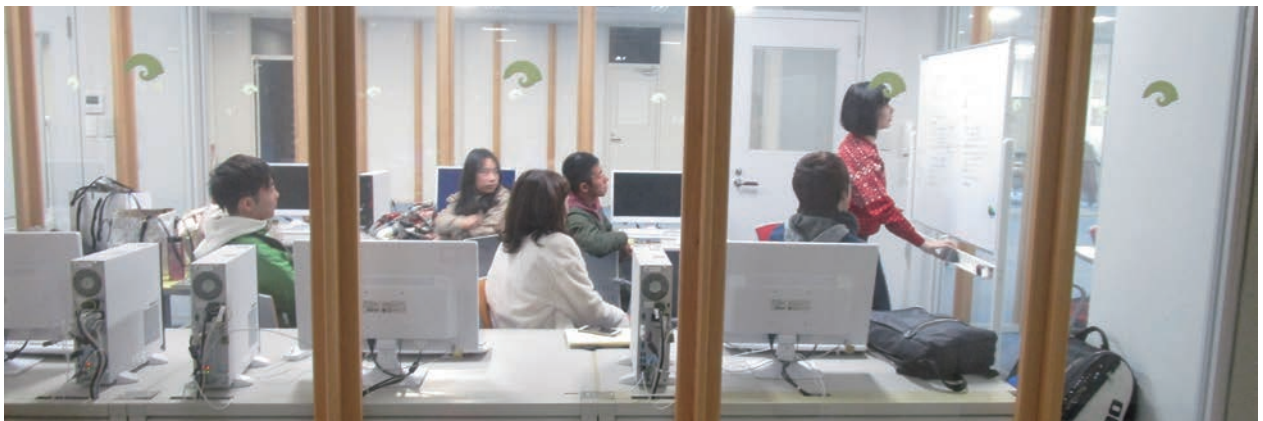
- 2017 年 8 月 11 日 毎日新聞『『梧陵文庫』の目録完成 耐久高保管の資料 1 年がかり、活用へ』
- 2017 年 10 月 2 日 橋本新聞「開館！くどやま森の童話館」

統計 2015-2018 (平成 27-29 年度)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
年間開館日数	合計	275	273	280
利用対象者数	学生	4,945	4,689	4,692
	教職員	875	898	888
	合計	5,820	5,587	5,580
入館者数	学生・教職員	285,820	295,694	293,953
	学外者	2,136	1,835	2,184
	合計	287,956	297,529	296,137
貸出冊数	学生	31,788	30,384	30,236
	教職員	3,898	4,769	5,484
	学外者	1,517	1,900	1,993
	合計	37,203	37,053	37,713
蔵書冊数	和漢書	536,428	524,399	517,970
	洋書	205,825	202,806	203,147
	合計	742,253	727,205	721,117
図書受入冊数	和漢書	3,786	4,915	5,770
	洋書	382	630	623
	合計	4,168	5,545	6,393
雑誌所蔵種数	和雑誌	4,826	4,907	4,839
	洋雑誌	2,275	2,276	2,278
	合計	7,101	7,183	7,117
雑誌受入種数	和雑誌	1,303	780	825
	洋雑誌	89	67	66
	合計	1,392	847	891
文献複写件数	受付	819	803	616
	国内依頼	1,226	1,467	902
	海外依頼	11	3	1
現物貸借件数	貸出	545	477	306
	借受	213	243	143

入館者数の推移





和歌山大学図書館年報 2017 / 2018

2018（平成30年）5月発行

発行／和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930 番地 TEL 073-457-7915